

■オランダ：世界初となる、補助なし洋上風力（70万kW）の入札実施

経済省オランダ企業サービス局（RON）は2017年12月15日、洋上風力サイト、ホランセ・クスト・ザイト（Hollandse Kust Zuid）Ⅰ、Ⅱ（各35万kW）の入札募集を開始し、同21日に締め切った。今回の入札は、経済相が補助なしを明言して実施された世界初の洋上風力入札である。2017年4月、ドイツでの洋上風力入札において事実上補助金ゼロのプロジェクトが落札したことが先例となり、オランダ市場でも再現されるとの期待があったと伝えられている。入札は沖合約20km、水深約20mのサイトにおける立地権を巡るものとなるが、落札企業は発電設備の建設と運転に伴う財務リスクを自ら負担しなければならない。また、落札者は価格だけではなく、事業者の質やプロジェクトデザインなどを含め、総合的な評価に基づいて選ばれる。落札者が出なかった場合、従来の枠組みで入札をやり直すことになっており、その場合は補助金の復活も排除されていない。入札には2050年のカーボンレス化を目標に掲げ、オランダではエグモント・アン・ゼー洋上風力発電所（10.8万kW）をすでに運転しており、最近ではオランダ北部にあるマイクロソフトのデータセンターに100%風力電力の供給契約を獲得したスウェーデンのバッテンファルが名乗りを上げている。他にはノルウェーのStatoil、ドイツRWEグループのInnogyも応札した模様。落札者は2018年第1四半期に発表される見通しである。これに続き、2018年にはHollandse Kust Zuid Ⅲ、Ⅳ（各35万kW）、2019年にはHollandse Kust Noord（各70万kW）の入札が実施される予定となっている。